

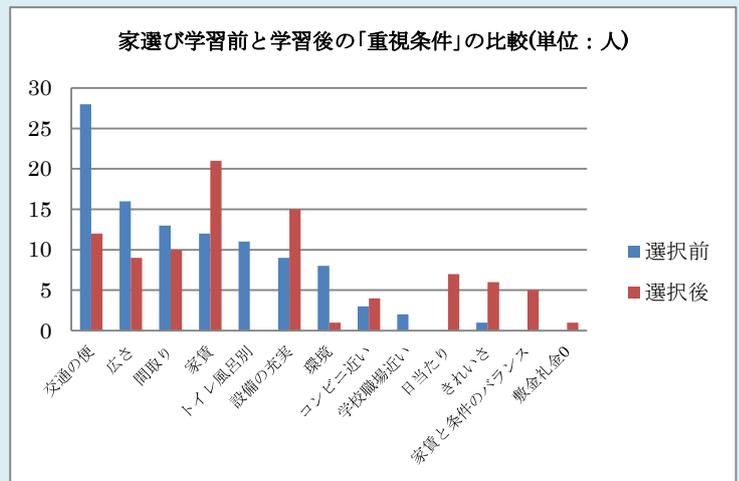
## 高校生に対する生活費教育が将来を展望するうえで有意義

キーワード

高校生、生活費、キャリア教育、将来展望、経済的自立意識

結論  
(エビデンス)

高校生は、生活をしていくうえで一定の費用が必要となることが実感として理解できておらず、将来の展望が描けずにいる。そこで、高校生に、自らの生活にかかわる基本的な経済感覚を持たせ、自分の将来の生活像に関連付けて生活費をイメージする授業を行った。自分が一人暮らしをすることを想定し、条件の異なる物件を示したチラシを教材として「家選び」を行った結果、学習前と比較して、生活をするに伴う生活費に目が向けられるようになり、生徒の着目する条件がより具体的・現実的になったことがわかる。高校生にとって関心のある「一人暮らし」をテーマとした学習を通して、生徒は自分の実生活や価値観を基にした「生活の質」と「生活費」との具体的な金額を結び付けることができるようになった。そのことは、労働に伴う収入という観点から、将来を展望する視点を得ることにつながった。経済的自立の教育としての意義が認められた。



内容説明

### ■ 授業実践について ■

実施時期：2008年5月～7月

対象校：東京都立高等学校普通科1年生 76名(男子40名、女子36名)。66.6%の生徒が高等教育機関に進学している。

授業概要：全10時間

第1時 導入：将来の生活

第2時 生活費について

第3時～第8時 一人暮らし生活費シミュレーション

第9時 家族暮らし生活費

第10時 まとめ：将来展望

学校種

小・中・**高**・大・その他

領域・分野

家族・家庭生活 食生活 衣生活 住生活  
高齢者福祉 保育 **消費生活・環境** その他

論文名・題材名等

高校家庭科における「生活費教育」が将来展望に与える影響

執筆者・実践者等  
氏名・所属名

鎌田美穂(東京学芸大学附属国際中等学校)・大竹美登利(東京学芸大学)

掲載・発表学会誌・  
報告書・雑誌・書籍  
等

日本家庭科教育学会誌

巻・号/  
出版社他  
(〇p-〇p)

第56巻第3  
号 (132p-  
140p)

掲載・実践  
年月日/  
出版年

2013.11